

知らないと損 (テクニカル・ノート)

リカバリゴマンド (PFDエディッタのコマンド) について

【問】 「ピカッと空が光り、続いてゴロゴロ・・・」PFDのエディッタでプログラムを編集集中に、突然、落雷による瞬時停電が起こりシステムがダウンしてしまいました。後でプログラムをべてみると、修正した分は全く残っていません。数時間かかって沢山修正したの残念でたません。雷が多い卒業研究のシーズンはいつもこんな事が起こるのですか。？

【答】 落雷による瞬時停電は防ぎようがありません。しかし、リカバリ (RECOVER) コマンドを用い、編集集中のプログラムやデータのバックアップを取ることは可能です。編集集中に突然システムダウンした場合、リカバリコマンドが入力されていればシステム再起動後にバックアップ・データを用いシステムダウンした直前の編集状態に戻すことができます。

コマンドの入力形式を下表に示します。

コ マ ン ド	オペランド (省略可能)
RECOVERY	ON
REC	OFF

【例】 リカバリコマンドの入力とリカバリ操作の手順を示します。

- ① PFDエディッタのコマンド欄にREC [OVERY] と入力します。このコマンドはシステムダウンする以前に入力しておかなければなりません (例えば、雷が鳴ったらすぐ入力する)。
- ② システムダウンが起こったとします。
- ③ システム再起動後、LOGONからやり直すしPFDプライマリオプションメニューで2 (EDIT) を選ぶと "EDIT-リカバリメニュー" が表示されます。次に以下の何れかの処理を行って下さい。
 - (1) リカバリ操作を行いシステムダウンの直前の編集状態に戻り、編集を続けるときはENTERキーを押して下さい。
 - (2) リカバリを中止するときにはCANCEL コマンドを入力して下さい。この操作を行うと、バックアップ・データがクリアされ最後に保存 (SAVE) した状態になります。
 - (3) プライマリオプションメニューに戻るときはEND キーを押して下さい。この操作をおこなってもバックアップ・データはクリアされないで、プライマリオプションメニューで2 (EDIT) を選ぶと再び "EDIT-リカバリメニュー" が表示されます。

【もう一言】 リカバリコマンドを普段から入力しておけば、不慮の異常終了に対して慌てることはありません。ただし、リカバリーコマンドを入力した場合、PFDエディッタのレスポンスが少し悪くなります。

①

```
日本語EDIT-----AB9999.KOHO.FORT77 (PROG1) -----表示欄 001 072
オプション==> REC                      移動量==> CUR
000100      DO 10 I = 1 , 6
000200          I1 = I * 2 - 1
000300          I2 = I * 2
000400      DO 20 J = 1 , 4
000500          J1 = J * 3 - 2
000600          J2 = J * 3 - 1
000700          J3 = J * 3
000800          A(I1,J1) = A(I1,J1) + A1
000900          A(I1,J2) = A(I1,J1) + A2
001000          A(I1,J3) = A(I1,J1) + A2
001100          A(I1,J3) = A(I1,J1) + A2
                . . . . .
```



②

「ピカッと空が光、続いてゴロゴロ・・・」システムダウン！！



③

```
-----< EDIT-リカバリ >-----
オプション==>

*****
*   EDIT   リカバリ選択メニュー   *
*****

データセットAB9999.KOHO.FORT77 (PROG1)
を編集集中に以上終了しました。

次の何れかを選んで下さい。
- リカバリして編集を続けるときはENTER キーを押して下さい。
  パスワード==> (パスワード保護されている場合)
- リカバリしないときはCANCELコマンドを入力して下さい。
- プライマリオプションメニューに戻るときはEND キーを押して下さい。
```

【Y. T】